

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-250679

(P2005-250679A)

(43) 公開日 平成17年9月15日(2005.9.15)

(51) Int.Cl.⁷

G06F 17/60

F I

G06F 17/60 1 2 4

G06F 17/60 3 1 4

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2004-57876 (P2004-57876)

(22) 出願日 平成16年3月2日(2004.3.2)

(71) 出願人 504073436

E C M C 株式会社

愛知県豊田市栄町六丁目6番地9

(74) 代理人 100089060

弁理士 向山 正一

(72) 発明者 宮田 則夫

愛知県豊田市栄町六丁目6番地9 E C M

C 株式会社内

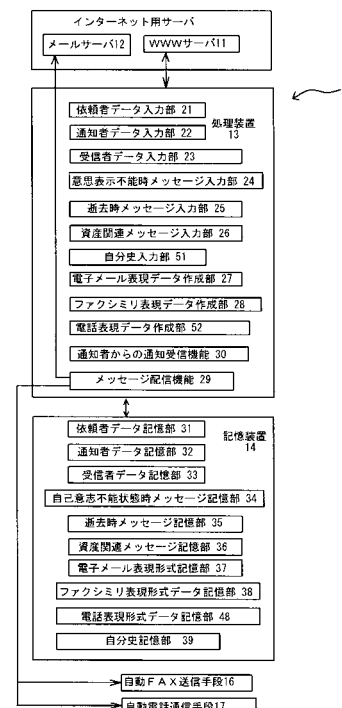
(54) 【発明の名称】 個人情報管理配信システム

(57) 【要約】

【課題】自己意思表示不能状態となった際に、個人情報を依頼者が指定するものに配信することが可能な個人情報管理配信システムを提供する。

【解決手段】 個人情報管理配信システムは、依頼者に関するデータを記憶する依頼者データ記憶部31と、依頼者により指定された通知者に関するデータを記憶する通知者データ記憶部32と、依頼者が指定する受信者に関するデータを記憶する受信者データ記憶部33と、依頼者が自己意思表示不能状態となった際に前記受信者に配信するためのメッセージを記憶する自己意思表示不能時メッセージ記憶部34と、個人情報管理配信システムが通知者から依頼者が自己意思表示不能状態となったことの通知を受領した際に、受信者に自己意思表示不能時メッセージを配信するためのメッセージ配信機能29とを備える。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自己の個人情報の管理を希望する依頼者、該依頼者により指定された通知者および前記依頼者が指定する受信者がネットワークを介して接続可能な個人情報管理配信システムであって、

該個人情報管理配信システムは、前記依頼者に関するデータを記憶する依頼者データ記憶部と、前記通知者に関するデータを記憶する通知者データ記憶部と、前記受信者に関するデータを記憶する受信者データ記憶部と、前記依頼者が自己意思表示不能状態となった際に前記受信者に配信するためのメッセージを記憶する自己意思表示不能時メッセージ記憶部と、該個人情報管理配信システムが前記通知者から前記依頼者が自己意思表示不能状態となったことの通知を受領した際に、前記受信者に前記自己意思表示不能時メッセージ記憶部が記憶するメッセージを配信するためのメッセージ配信機能とを備えることを特徴とする個人情報管理配信システム。 10

【請求項 2】

前記個人情報管理配信システムは、前記依頼者についての資産関連メッセージを記憶する資産関連メッセージ記憶部を備え、前記自己意思表示不能時メッセージ記憶部は、該資産関連メッセージ記憶部が記憶する資産関連メッセージの前記受信者への配信指定が可能であり、前記メッセージ配信機能は、該自己意思表示不能時メッセージ記憶部が資産関連メッセージの前記受信者への配信が指定されている場合には、該資産関連メッセージを前記受信者に配信するものである請求項 1 に記載の個人情報管理配信システム。 20

【請求項 3】

前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して行う前記依頼者および前記通知者の認証確認機能を備えている請求項 1 または 2 に記載の個人情報管理配信システム。

【請求項 4】

前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して前記認証確認機能により認証確認された依頼者による自己意思表示不能時メッセージの入力および変更を認めるメッセージ入力機能を備えるものである請求項 3 に記載の個人情報管理配信システム。

【請求項 5】

前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して前記認証確認機能により認証確認された依頼者による資産関連メッセージの入力および変更を認めるメッセージ入力機能を備えるものである請求項 3 または 4 に記載の個人情報管理配信システム。 30

【請求項 6】

前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して前記認証確認機能により認証確認された依頼者による前記通知者データおよび前記受信者データの入力および変更を認めるデータ入力機能を備えるものである請求項 3 ないし 5 のいずれかに記載の個人情報管理配信システム。

【請求項 7】

前記個人情報管理配信システムは、前記依頼者が逝去した際に前記受信者に配信するためのメッセージを記憶する逝去時メッセージ記憶部を備え、前記メッセージ配信機能は、該個人情報管理配信システムが前記通知者から前記依頼者が逝去したことの通知を受領した際に、前記依頼者の受信者に前記死去時メッセージ記憶部が記憶するメッセージを配信する機能を備えているものである請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の個人情報管理配信システム。 40

【請求項 8】

前記メッセージ配信機能は、電子メール配信およびファクシミリ配信機能を備えている請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の個人情報管理配信システム。

【請求項 9】

前記個人情報管理配信システムは、電子メール表現形式およびファクシミリ表現形式データ記憶機能と、前記依頼者が指定する電子メール表現形式およびファクシミリ表現形式を記憶する個別表現形式記憶機能と、前記メッセージ記憶部に記憶されたメッセージデータ 50

と前記個別表現形式記憶機能より電子メール表現データおよびファクシミリ表現データを作成する機能とを備えている請求項 8 に記載の個人情報管理配信システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、依頼者の個人情報を管理するとともに、その依頼者が指定する者に所定の状態となった場合にその個人情報を配信するための個人情報管理配信システムに関するものである。

【背景技術】

【0002】

特開 2002-197287 号公報（特許文献 1）は、ライフバクシステムを提案している。このシステムは、インターネットのホームページ上に、会員に係る各種情報を預かるサイトを形成するとともに、該サイトには会員のその後の情報を随時追記・改変可能とし、しかも会員の要請に基づいて、これらの記録情報の全部もしくは一部の閲覧、特定者への提供、公開、およびそれらの時期の指定を可能とするものである。

【0003】

【特許文献 1】特開 2002-197287 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

個人情報には、その個人が特定の状態となった場合のみ特定者に通知したい事項があり、そのような状態とならない時点においては、通知もしくは開示したくないものがある。このような特定の状態としては、痴呆、植物人間化などのように、生存はしているものの自己意思を表示できない状態となることがある。しかし、自己意思表示不能状態となってしまった後では、個人情報を特定者に通知することは困難である。特許文献 1 のものでは、このような場合に対応できない。

本発明の目的は、自己意思表示不能状態となった際に、個人情報を依頼者が指定するものに配信することが可能な個人情報管理配信システムを提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

上記目的を達成するものは以下のものである。

（１） 自己の個人情報の管理を希望する依頼者、該依頼者により指定された通知者および前記依頼者が指定する受信者がネットワークを介して接続可能な個人情報管理配信システムであって、

該個人情報管理配信システムは、前記依頼者に関するデータを記憶する依頼者データ記憶部と、前記通知者に関するデータを記憶する通知者データ記憶部と、前記受信者に関するデータを記憶する受信者データ記憶部と、前記依頼者が自己意思表示不能状態となった際に前記受信者に配信するためのメッセージを記憶する自己意思表示不能時メッセージ記憶部と、該個人情報管理配信システムが前記通知者から前記依頼者が自己意思表示不能状態となったことの通知を受領した際に、前記受信者に前記自己意思表示不能時メッセージ記憶部が記憶するメッセージを配信するためのメッセージ配信機能とを備えることを特徴とする個人情報管理配信システム。

【0006】

（２） 前記個人情報管理配信システムは、前記依頼者についての資産関連メッセージを記憶する資産関連メッセージ記憶部を備え、前記自己意思表示不能時メッセージ記憶部は、該資産関連メッセージ記憶部が記憶する資産関連メッセージの前記受信者への配信指定が可能であり、前記メッセージ配信機能は、該自己意思表示不能時メッセージ記憶部が資産関連メッセージの前記受信者への配信が指定されている場合には、該資産関連メッセージを前記受信者に配信するものである上記（１）に記載の個人情報管理配信システム。

（３） 前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して行う前記依頼者およ

10

20

30

40

50

び前記通知者の認証確認機能を備えている上記（１）または（２）に記載の個人情報管理配信システム。

（４） 前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して前記認証確認機能により認証確認された依頼者による自己意思表示不能時メッセージの入力および変更を認めるメッセージ入力機能を備えるものである上記（３）に記載の個人情報管理配信システム。

（５） 前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して前記認証確認機能により認証確認された依頼者による資産関連メッセージの入力および変更を認めるメッセージ入力機能を備えるものである上記（３）または（４）に記載の個人情報管理配信システム。

10

【０００７】

（６） 前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して前記認証確認機能により認証確認された依頼者による前記通知者データおよび前記受信者データの入力および変更を認めるデータ入力機能を備えるものである上記（３）ないし（５）のいずれかに記載の個人情報管理配信システム。

（７） 前記個人情報管理配信システムは、前記依頼者が逝去した際に前記受信者に配信するためのメッセージを記憶する逝去時メッセージ記憶部を備え、前記メッセージ配信機能は、該個人情報管理配信システムが前記通知者から前記依頼者が逝去したことの通知を受領した際に、前記依頼者の受信者に前記死去時メッセージ記憶部が記憶するメッセージを配信する機能を備えているものである上記（１）ないし（６）のいずれかに記載の個人情報管理配信システム。

20

（８） 前記メッセージ配信機能は、電子メール配信およびファクシミリ配信機能を備えている上記（１）ないし（７）のいずれかに記載の個人情報管理配信システム。

（９） 前記個人情報管理配信システムは、電子メール表現形式およびファクシミリ表現形式データ記憶機能と、前記依頼者が指定する電子メール表現形式およびファクシミリ表現形式を記憶する個別表現形式記憶機能と、前記メッセージ記憶部に記憶されたメッセージデータと前記個別表現形式記憶機能より電子メール表現データおよびファクシミリ表現データを作成する機能とを備えている上記（８）に記載の個人情報管理配信システム。

【発明の効果】

【０００８】

本発明の個人情報管理配信システムは、自己の個人情報の管理を希望する依頼者、該依頼者により指定された通知者および前記依頼者が指定する受信者がネットワークを介して接続可能な個人情報管理配信システムであって、該個人情報管理配信システムは、前記依頼者に関するデータを記憶する依頼者データ記憶部と、前記通知者に関するデータを記憶する通知者データ記憶部と、前記受信者に関するデータを記憶する受信者データ記憶部と、前記依頼者が自己意思表示不能状態となった際に前記受信者に配信するためのメッセージを記憶する自己意思表示不能時メッセージ記憶部と、該個人情報管理配信システムが前記通知者から前記依頼者が自己意思表示不能状態となったことの通知を受領した際に、前記受信者に前記自己意思表示不能時メッセージ記憶部が記憶するメッセージを配信するためのメッセージ配信機能とを備える。

40

このため、依頼者が自己意思表示不能状態となった場合に、依頼者が指定する受信者に自己意思表示不能時メッセージを配信できるとともに、その配信は、依頼者が選任した通知者からの通知により開始されるため、個人情報が漏出することなくかつ的確なタイミングにおいて受信者がメッセージを受領することができる。

【０００９】

また、前記個人情報管理配信システムは、前記依頼者についての資産関連メッセージを記憶する資産関連メッセージ記憶部を備え、前記自己意思表示不能時メッセージ記憶部は、該資産関連メッセージ記憶部が記憶する資産関連メッセージの前記受信者への配信指定が可能であり、前記メッセージ配信機能は、該自己意思表示不能時メッセージ記憶部が資産関連メッセージの前記受信者への配信が指定されている場合には、該資産関連メッセー

50

ジを前記受信者に配信するものであれば、受信者は資産に関するメッセージを受領することができる。

また、前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して行う前記依頼者および前記通知者の認証確認機能を備えているものであれば、個人情報を管理がより確実なものとなる。

また、前記個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して前記認証確認機能により認証確認された依頼者による前記通知者データおよび前記受信者データの入力および変更を認めるデータ入力機能を備えるものであれば、依頼者が容易に通知者データおよび受信者データを変更することができる。

【0010】

また、前記個人情報管理配信システムは、前記依頼者が逝去した際に前記受信者に配信するためのメッセージを記憶する逝去時メッセージ記憶部を備え、前記メッセージ配信機能は、該個人情報管理配信システムが前記通知者から前記依頼者が逝去したことの通知を受領した際に、前記依頼者の受信者に前記死去時メッセージ記憶部が記憶するメッセージを配信する機能を備えているものであれば、依頼者が逝去した場合に、依頼者が指定する受信者に逝去時メッセージを配信できるとともに、その配信は、依頼者が選任した通知者からの通知により開始されるため、個人情報が漏出することなくかつ的確なタイミングにおいて受信者がメッセージを受領することができる。

また、前記個人情報管理配信システムは、電子メール表現形式およびファクシミリ表現形式データ記憶機能と、前記依頼者が指定する電子メール表現形式およびファクシミリ表現形式を記憶する個別表現形式記憶機能と、前記メッセージ記憶部に記憶されたメッセージデータと前記個別表現形式記憶機能より電子メール表現データおよびファクシミリ表現データを作成する機能を備えているものであれば、依頼者が希望する形式にてメッセージを配信することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

そこで、本発明の個人情報管理配信システムについて、実施例を用いて説明する。

図1は、本発明の個人情報管理配信システムの実施例の構成を示すブロックである。図2は、本発明の個人情報管理配信システムの実施のための個人情報管理配信システム用装置の一例を説明するための説明図である。図3は、本発明の個人情報管理配信システムにおけるデータベース構造の一例を示す図である。図4ないし6は、本発明の個人情報管理配信システムの作用を説明するためのフローチャートである。

本発明の個人情報管理配信システムは、自己の個人情報の管理を希望する依頼者、依頼者により指定された通知者および依頼者が指定する受信者がネットワークを介して接続可能な個人情報管理配信システムである。個人情報管理配信システムは、依頼者に関するデータを記憶する依頼者データ記憶部31と、通知者に関するデータを記憶する通知者データ記憶部32と、受信者に関するデータを記憶する受信者データ記憶部33と、依頼者が自己意思表示不能状態となった際に前記受信者に配信するためのメッセージを記憶する自己意思表示不能時メッセージ記憶部34と、個人情報管理配信システムが通知者から依頼者が自己意思表示不能状態となったことの通知を受領した際に、受信者に自己意思表示不能時メッセージ記憶部が記憶するメッセージを配信するためのメッセージ配信機能29とを備える。

【0012】

この実施例の個人情報管理配信システムは、多数の依頼者、多数の通知者、多数の受信者がネットワークを介して接続可能な管理者サーバを有する管理システム用装置1を備える。具体的には、管理システム用装置1は、図1に示すように、インターネット2を介して、依頼者側端末3、通知者側端末4および受信者側端末5と接続可能な機能を備える。

管理システム用装置1は、図1に示すように、WWWサーバ11、メールサーバ12を備えるインターネット用サーバ、処理装置13および記憶装置14を備えている。さらに、管理システム用装置1は、自動FAX送信手段16、自動電話通信手段17、入力端末

10

20

30

40

50

15を備えていてもよい。

管理システム用装置1は、図2に示すように、処理装置13と記憶装置14を備えている。

【0013】

この実施例においては、処理装置13は、図2に示すように、依頼者データ入力部21、通知者データ入力部22、受信者データ入力部23、意思表示不能時メッセージ入力部24、逝去時メッセージ入力部25、資産関連メッセージ入力部26、自分史入力部51、電子メール表現データ作成部27、ファクシミリ表現データ作成部28、電話表現データ作成部52、メッセージ配信機能29、通知者からの通知受信機能30を備えている。

メッセージ配信機能29は、作成された表現データが電子メール表現データの場合には、メールサーバ12に送り、メールサーバより受信者に電子メールが送信される。また、メッセージ配信機能29は、作成された表現データがファクシミリ表現データの場合には、そのデータを自動FAX送信手段16に送り、自動FAX送信手段16より受信者にファクシミリデータが送信される。また、メッセージ配信機能29は、作成された表現データが電話表現データの場合には、そのデータを自動電話通信手段17に送り、自動電話通信手段17より受信者に電話がかけられデータ内容が伝えられる。

この実施例においては、記憶装置14は、図2に示すように、依頼者データ記憶部31、通知者データ記憶部32、受信者データ記憶部33、意思表示不能時メッセージ記憶部34、逝去時メッセージ記憶部35、資産関連メッセージ記憶部36、電子メール表現形式記憶部37、ファクシミリ表現形式記憶部38、自分史記憶部39、電話表現形式記憶部48を備えている。

【0014】

各機能および記憶部について説明する。

依頼者データ入力部21は、依頼者の氏名、住所、生月日、メールアドレスなどの個人情報データを入力可能とするためのものであり、ここに入力されたデータは、ID、パスワードともに、依頼者データ記憶部31に記憶される。

通知者データ入力部22は、通知者の氏名、住所、生月日、メールアドレス、電話番号などの通知者の個人情報データを依頼者もしくは管理者が入力可能とするためのものであり、ここに入力されたデータは、ID、パスワードともに、通知者データ記憶部32に記憶される。なお、通知者データは、少なくとも二名以上入力可能となっている。

受信者データ入力部23は、受信者の氏名、住所、メールアドレス、電話番号、FAX番号などの受信者の個人情報データを依頼者もしくは管理者が入力可能とするためのものであり、ここに入力されたデータは、受信者データ記憶部33に記憶される。受信者データは、複数人入力可能となっている。

意思表示不能時メッセージ入力部24は、複数の意思表示不能時メッセージの入力および入力されたメッセージの配信対象受信者の指定を依頼者が行うためのものであり、ここに入力されたデータは、意思表示不能時メッセージ記憶部34に記憶される。

【0015】

また、個人情報管理配信システムは、依頼者が逝去した際に受信者に配信するためのメッセージを記憶する逝去時メッセージ記憶部35を備え、メッセージ配信機能29は、個人情報管理配信システムが通知者から前記依頼者が逝去したことの通知を受領した際に、依頼者の受信者に死去時メッセージ記憶部が記憶するメッセージを配信する機能を備えていてもよい。

逝去時メッセージ入力部25は、複数の逝去時メッセージの入力および入力されたメッセージの配信対象受信者の指定を依頼者が行うためのものであり、ここに入力されたデータは、逝去時メッセージ記憶部35に記憶される。

資産関連メッセージ入力部26は、複数の資産関連メッセージの入力および入力されたメッセージの配信対象受信者の指定を依頼者が行うためのものであり、ここに入力されたデータは、資産関連メッセージ記憶部36に記憶される。

【0016】

10

20

30

40

50

さらに、この実施例の個人情報管理配信システムは、依頼者についての資産関連メッセージを記憶する資産関連メッセージ記憶部 36 を備え、自己意思表示不能時メッセージ記憶部 34 は、資産関連メッセージ記憶部 36 が記憶する資産関連メッセージの受信者への配信指定が可能であり、メッセージ配信機能 29 は、自己意思表示不能時メッセージ記憶部 34 が資産関連メッセージの受信者への配信が指定されている場合には、資産関連メッセージを前記受信者に配信するものであってもよい。

さらに、この実施例の個人情報管理配信システムは、依頼者についての自分史記憶部 39 を備え、メッセージ配信機能 29 は、依頼者の逝去時もしくは自己意思表示不能時に、この自分史を指定する受信者に配信する機能を備えていてもよい。

【0017】

電子メール表現データ作成部 27 は、電子メール表現形式記憶部 37 において記憶されている表現形式のうちの依頼者が選択したものと、配信されるメッセージデータを用いて、配信される電子メール表現データを作成する。電子メール表現形式記憶部 37 は、複数の表現形式を記憶し、依頼者が受信者毎に表現形式を選択することができることが好ましい。なお、選択された表現形式データは、例えば、受信者データ記憶部に記憶される。

ファクシミリ表現データ作成部 28 は、ファクシミリ表現形式記憶部 38 において記憶されている表現形式のうちの依頼者が選択したものと、配信されるメッセージデータを用いて、配信されるファクシミリ表現データを作成する。ファクシミリ表現形式記憶部 38 は、複数の表現形式を記憶し、依頼者が受信者毎に表現形式を選択することができることが好ましい。なお、選択された表現形式データは、例えば、受信者データ記憶部に記憶される。

【0018】

また、個人情報管理配信システムは、図 2 に示す実施例のように、電話表現データ作成部 52 および電話表現形式記憶部 48 を備えていることが好ましい。電話表現データ作成部 52 は、電話表現形式記憶部 48 において記憶されている表現形式のうちの依頼者が選択したものと、配信されるメッセージデータを用いて、配信される電話表現データを作成する。電話表現形式記憶部 48 は、複数の表現形式を記憶し、依頼者が受信者毎に表現形式を選択することができることが好ましい。なお、選択された表現形式データは、例えば、受信者データ記憶部に記憶される。

【0019】

そして、個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して行う依頼者および通知者の認証確認機能を備えていることが好ましい。具体的には、各記憶部に記憶されているデータは、依頼者のみが閲覧および変更可能となっており、それらを行う場合には、ID、パスワードの入力が要求される。また、通知者からの通知受信機能 30 は、通知者のみからの通知を受信可能となっており、通知者が通知を行う場合には、ID、パスワードの入力が要求される。

また、個人情報管理配信システムは、ネットワークを介して認証確認機能により認証確認された依頼者による自己意思表示不能時メッセージの入力および変更、資産関連メッセージの入力および変更、逝去時メッセージの入力および変更通知者データの入力および変更、受信者データの入力および変更が可能なものとなっている。

【0020】

そして、管理システム用装置 1 の記憶装置 14 は、例えば図 3 に示すようなデータベース構造を備えている。この例のデータベース構造では、依頼者データテーブル 41 があり、この中には、複数の依頼者に関する ID、パスワード、氏名、住所等の依頼者個人データが記憶されている。また、通知者データテーブル 42 には、複数の依頼者に関する ID、パスワード、氏名、住所等の通知者個人データが記憶されている。そして、矢印で示すように、依頼者データテーブル 41 と通知者データテーブル 42 とはリンクされており、依頼者とその通知者とが関連付けされている。同様に、受信者データテーブル 43 には、複数の受信者に関する氏名、電子メールアドレス、住所、FAX 番号、電話番号等の受信者個人データが記憶されている。そして、矢印で示すように、依頼者データテーブル 41

10

20

30

40

50

と受信者データテーブル４３とはリンクされており、依頼者とその受信者とが関連付けられている。

【００２１】

また、自己意思表示不能時メッセージテーブル４４には、多数のメッセージが記憶されている。そして、矢印で示すように、記憶されている自己意思表示不能時メッセージは、依頼者データテーブル４１および受信者データテーブル４３とリンクされており、依頼者と受信者とメッセージが関連付けされている。

同様に、逝去時メッセージテーブル４６には、多数のメッセージが記憶されている。そして、矢印で示すように、記憶されている逝去時メッセージは、依頼者データテーブル４１および受信者データテーブル４３とリンクされており、依頼者と受信者とメッセージが関連付けされている。 10

また、資産メッセージテーブル４５には、多数のメッセージが記憶されている。そして、矢印で示すように、記憶されている資産メッセージは、依頼者データテーブル４１、受信者データテーブル４３および自己意思表示不能時メッセージテーブルとリンクされており、依頼者と受信者とメッセージが関連付けされている。

【００２２】

また、自分史テーブル４７には、１もしくは複数の自分史が記憶されている。そして、矢印で示すように、記憶されている自分史は、依頼者データテーブル４１、受信者データテーブル４３および逝去時メッセージテーブルとリンクされており、依頼者と受信者とメッセージが関連付けされている。 20

なお、データベース構造としては、上記のようなデータベース構造を依頼者毎に作成したものであってもよい。この場合には、各データテーブルには、１人の依頼者に関するデータのみが記憶されることになる。

【００２３】

次に、本発明の個人情報管理配信システムの作用を図４ないし図６のフローチャートを用いて説明する。

最初に、管理者は、個人情報管理配信システムのためのホームページを開設する。依頼者が、図４に示すように、ホームページにアクセスすると、ＩＤ、パスワードの有無が問われ、持っていない場合には、所定事項（例えば、氏名、住所、メールアドレスなど）を入力することにより、ＩＤ、パスワードが発行されるとともに、ここにおいて個人情報管理契約の締結となる。 30

そして、依頼者データ入力画面、通知者データ入力画面、受信者データ入力画面に順次に移行し、画面に従って入力することにより、依頼者データ、通知者データ、受信者データが管理者の管理システム用装置に記憶される。

【００２４】

次に、自己意思表示不能時メッセージの入力画面に移行し、メッセージおよびそのメッセージの配信対象となる受信者の指定が行われ、そのメッセージは受信者と関連付けられて管理者の管理システム用装置に記憶される。

さらに、逝去時メッセージの入力画面に移行し、メッセージおよびそのメッセージの配信対象となる受信者の指定が行われた場合には、そのメッセージは受信者と関連付けられて管理者の管理システム用装置に記憶される。 40

さらに、資産メッセージの入力画面に移行し、メッセージおよびそのメッセージの配信対象となる受信者の指定が行われた場合には、そのメッセージは受信者と関連付けられて管理者の管理システム用装置に記憶される。

さらに、電子メール表現形式の入力画面に移行し、提示される表現形式の選択および配信対象となる受信者の指定が行われた場合には、その表現形式は受信者と関連付けられて管理者の管理システム用装置に記憶される。

さらに、ファクシミリ表現形式の入力画面に移行し、提示される表現形式の選択および配信対象となる受信者の指定が行われた場合には、その表現形式は受信者と関連付けられて管理者の管理システム用装置に記憶される。 50

さらに、自分史の入力画面に移行し、自分史およびその自分史の配信対象となる受信者の指定が行われた場合には、その自分史は受信者と関連付けられて管理者の管理システム用装置に記憶される。

【0025】

そして、図5に示すように、通知者がホームページにアクセスすると、ID、パスワードの有無が問われ、入力することにより、依頼者自己意思表示不能通知および依頼者逝去通知入力画面に移行し、依頼者自己意思表示不能通知が入力された場合には、管理システム用装置は、記憶する自己意思表示不能時メッセージを用いて、各受信者に対する電子メール表現データ、ファクシミリ表現データもしくは電話表現データを作成し、それを指定されている受信者に配信する。また、図6に示すように、依頼者自己意思表示不能状態通知および依頼者逝去通知入力画面において、依頼者逝去通知が入力された場合には、管理システム用装置は、記憶する逝去時メッセージ等を用いて、各受信者に対する電子メール表現データ、ファクシミリ表現データもしくは電話表現データを作成し、それを指定されている受信者に配信する。

10

【図面の簡単な説明】

【0026】

【図1】図1は、本発明の個人情報管理配信システムの実施例の構成を示すブロックである。

【図2】図2は、本発明の個人情報管理配信システムの実施のための個人情報管理配信システム用装置の一例を説明するための説明図である。

20

【図3】図3は、本発明の個人情報管理配信システムにおけるデータベース構造の一例を示す図である。

【図4】図4は、本発明の個人情報管理配信システムの作用を説明するためのフローチャートである。

【図5】図5は、本発明の個人情報管理配信システムの作用を説明するためのフローチャートである。

【図6】図6は、本発明の個人情報管理配信システムの作用を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

【0027】

30

1 管理システム用装置

1 1 WWWサーバ

1 2 メールサーバ

1 3 処理装置

1 4 記憶装置

3 1 依頼者データ記憶部

3 2 通知者データ記憶部

3 3 受信者データ記憶部

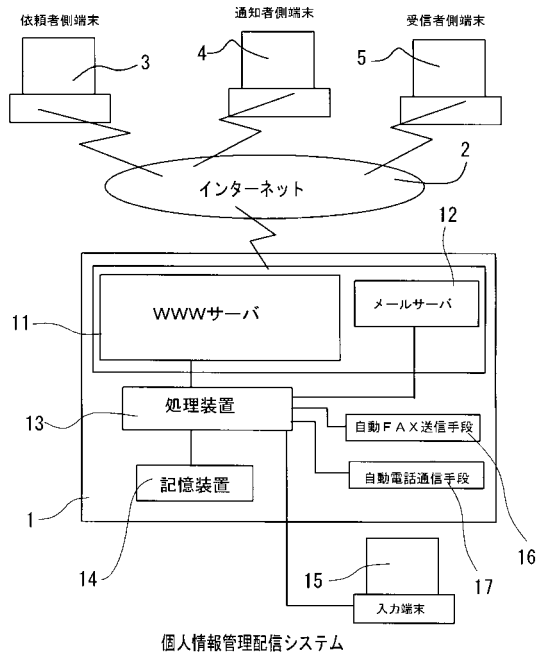
3 4 意思表示不能時メッセージ記憶部

3 5 逝去時メッセージ記憶部

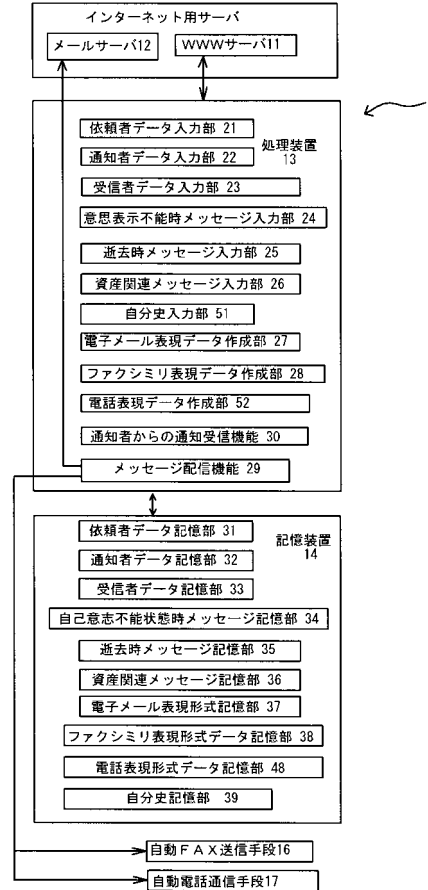
40

3 6 資産関連メッセージ記憶部

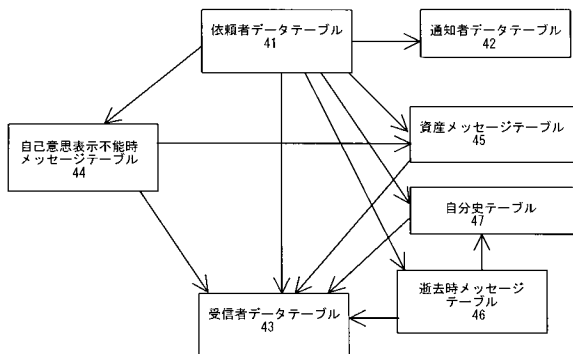
【図 1】



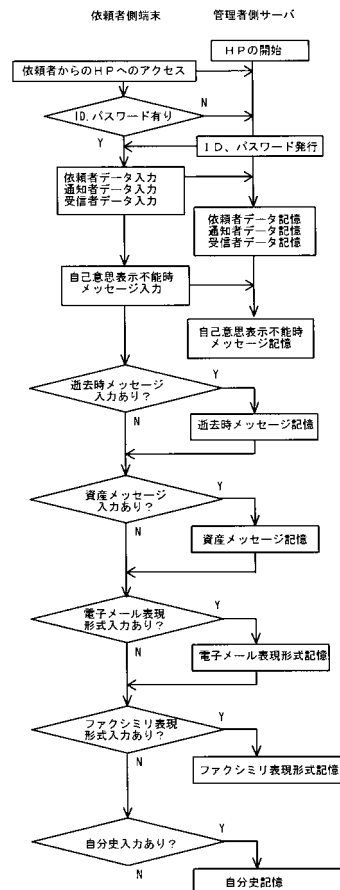
【図 2】



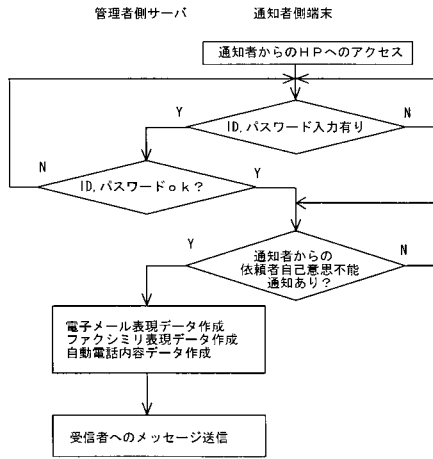
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

